

テーマ：世代間交流

対象：中学生以上

主催： 広島市倉掛公民館

世代間交流プロジェクト基礎演技講座

地域を学ぶ

地域でつながる

○

地域に還す

1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習・活動内容
R4 12月中旬	倉掛公民館	○講師との打合せ ・日程、講座の内容、方法、目的、活動のゴールなどを事前に確認する。
R5 5月13日(土) 9:30~12:30	倉掛公民館	①「演技の基礎はコミュニケーション！」 ・オリエンテーション、自己紹介、シアターゲーム、発声練習
5月27日(土) 9:30~12:30	倉掛公民館	②「一人芝居にチャレンジ！」 ・ナレーションから朗読、一人芝居に。「田沢湖の伝説」
6月10日(土) 9:30~12:30	倉掛公民館	③「台本を読んでみよう！」 ・岸田國士の戯曲を読み解く。
6月24日(土) 9:30~12:30	倉掛公民館	④「実際にお芝居を作ってみよう！」 ・台本の読み合わせ。 ・各チームに分かれて実際に作品にしてい
7月8日(土) 9:30~12:30	倉掛公民館	⑤「人前で演じてみよう！」 ・各チームに分かれて実際に作品にしてい ・各チームが発表し、鑑賞会をする。
11月~	倉掛公民館	○「戯曲を読む会 つぐみ」スタート ・プログラム参加者により学習グループが結成され、定期的に活動している。



対象

中学生以上

経費

参加費無料、講師謝金

連携先

演出家・俳優 小原 史麗（生涯学習上級コーディネーター）

問合せ先

広島市倉掛公民館

〒739-1743 広島市安佐北区倉掛一丁目12番1号

電話：082-845-1710

ファクシミリ：082-845-1710

2 講座設定の理由（学習の目的）

- 核家族化や少子高齢化により世代間の交流が減少し、地縁的な繋がりや人間関係が希薄化するとともに、子供の心の成長の糧となる自然体験や生活体験の機会が減少している。そこで、「演劇」を通して、世代間交流を図るとともに、子供たちの豊かな自然体験や生活体験を支援する。
- 「演劇」に関わる主催事業を開催し、受講者に「演劇」の魅力を伝えることにより、新たな市民活動グループの立ち上げにつなげる。

3 学習目標

- 異世代間の交流を通して、日ごろ関わりの薄い世代と交流を図ることができる。
- 「演劇」を通してコミュニケーションを図り、世代間の交流を楽しみながら地域住民同士の連帯感を高める。

4 事前に必要な知識や準備物

- 事前に講師との連携を行う。（日程、講座の内容、方法、目的、活動のゴールなど）
- 即興的に演劇に取り組むので、参加者は事前に準備しておくものはない。

5 留意点

- 表現することへのハードルが下がるように、話しやすい環境を整える。
- 活動に集中して取り組むことができるようにするため、活動の中で知り得たことは外で話さないことをお互いの約束とする。
- 最後は参加者全員で鑑賞会を開き、お互いがどんな取組を行ってきたのか共有の場を設ける。

6 成果

- 参加者の年齢は10代から60代で、男女の偏りも少なく、バランスがよかった。皆が、学習課題と向き合いながら楽しく活動できた。
- 回を追うごとに参加者同士の距離が縮まり、交流を深めることができた。
- 前後の回とのつながりや各回の構成を工夫し、ステップアップが意識できるようにしたことで、参加者の充実感・達成感も大きかった。
- 参加者が発起人となり、新しく演劇を学ぶ学習グループが作られた。

7 課題

- 公民館だよりや広報紙などを見て参加していただいた方が多かったが、中高生の参加が少なく、世代間交流や子供たちの体験活動という当初の目的が薄れてしまった。
- 参加者には、演劇経験者や劇団所属の方が多かった。活動の広がりということを考えると、未経験の方に多く参加していただけるとよかった。

8 今後に向けて

- 世代間交流という目的達成に向けて、中高生に広く参加してもらえるよう、広報の仕方を工夫する。
- 本プログラムの参加者がグループを作って継続して演劇について学習している。こういったグループを、発表の場を作るなどして支援していく。